

経営比較分析表（令和6年度決算）

長崎県諫早市 諫早市高城駐車場

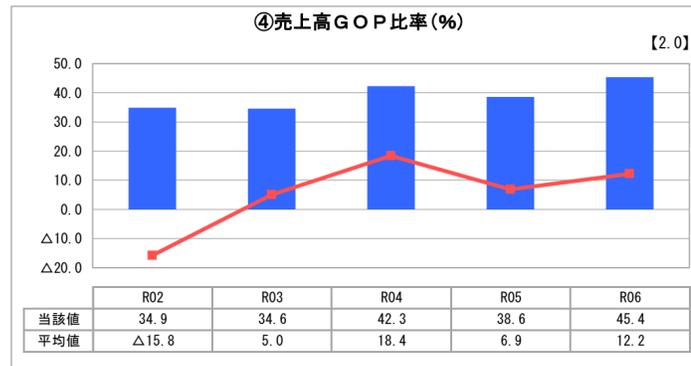
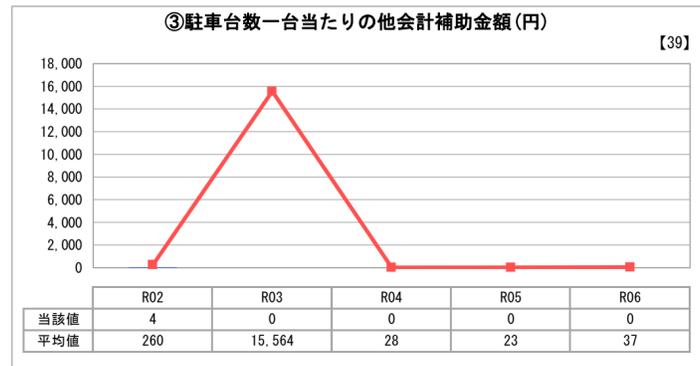
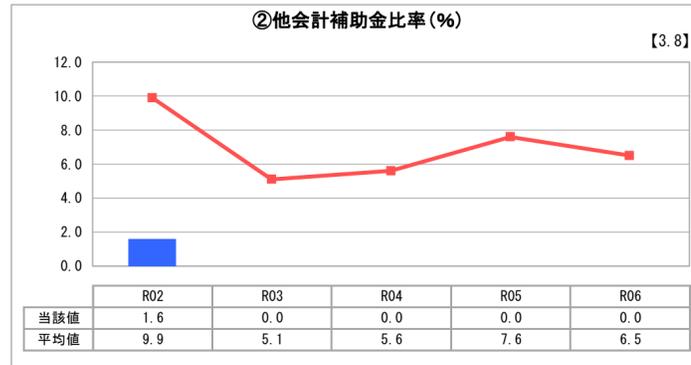
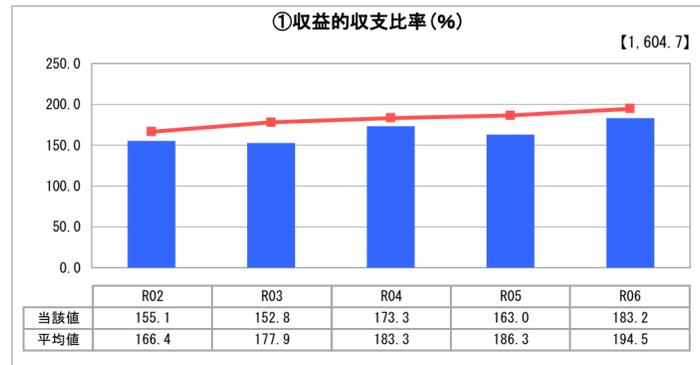
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	立体式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	6,731
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
256	220	無

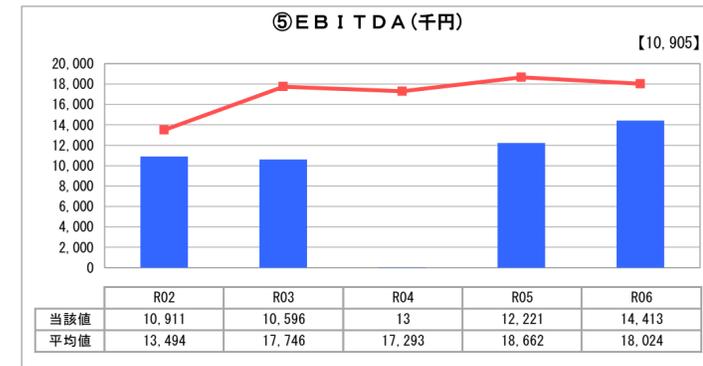
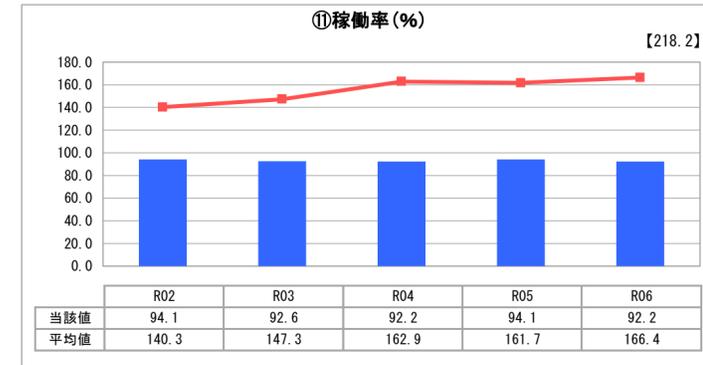
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

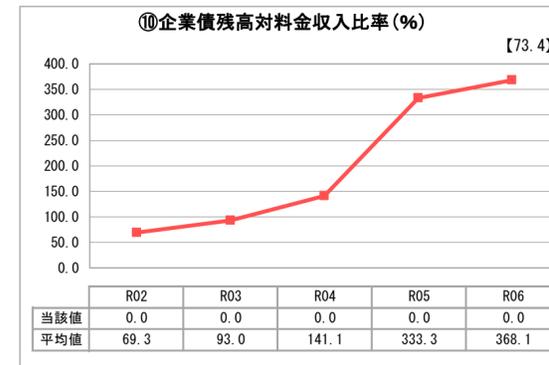
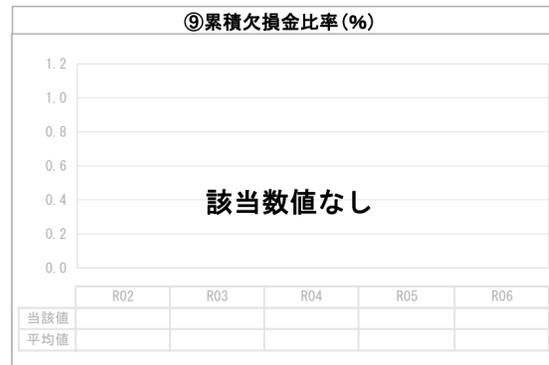


⑦敷地の地価(千円)

42,340

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 令和5年度と比較し、①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDAの数値が増加している。これは使用料による収益は微増である一方、維持管理費（電気代や普通修繕費等）の費用が減少したことによるものである。
 ②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額については、一般会計からの繰り入れを行わなかったため、0となっている。

※①収益的収支比率については、R5年度の当該値が163.0とあるが、162.9が正である。
 ※⑤EBITDAについては、R4年度の当該値が13千円、R5年度が12,221千円となっているが、R4年度は13,104千円、R5年度は12,211千円が正である。

2. 資産等の状況について
 当駐車場が供用を開始してから28年が経過し、経年劣化に伴う費用が高む改修箇所が多く見られる。
 現在は、関係団体及び管理業者と密に連携をとり、緊急性の高い改修箇所から改修工事を行うよう計画している。

※⑧設備投資見込額については、0千円となっているが、67,200千円が正である。

3. 利用の状況について
 新型コロナウイルス感染症のため中止となったイベント等が開催されるようになったが、当駐車場においては、令和2年度以降、稼働率が100%を下回る状況が続いており、令和5年度と比較しても稼働率は減少している。
 今後コロナ禍前の水準までの回復は見込めないが、時間駐車と定期駐車との割合を調整しながら収益を安定させていく。

全体総括
 本施設は、平成9年2月の供用開始から28年が経過しており、経年劣化を原因とする費用の高む箇所があるが、市街地を訪れる市民のための駐車場として利用していただくために、必要な設備改修等を計画的に実施する。
 また、令和6年度は前年度と比較して収支は増となっており、今後も時間駐車と定期駐車との割合を調整しながら収益を安定させることで健全経営を図っていく。